

児童アンケート・保護者アンケートの結果について

児童アンケートの回答について（3年生以上の児童対象）

№	質問項目	回答(%)		
		A+B	C	D
1	学校は楽しいですか。	94.1 (+4.6)	5.9	0
2	じゅぎょうはわかりますか。	93.8 (-2.3)	6.2	0
3	こまったときには、先生にそうだんできますか。	75.2 (+10.2)	16.4	8.4
4	いっしょに活動できる友だちがいますか。	94.6 (±0)	5.1	0.3
5	今のクラスは好きですか。	91.6 (-2.2)	6.2	2.2
6	こまっている子に声をかけることができますか。	88.0 (-3.1)	10.2	1.8
7	自分からあいさつをしていますか。	89.8 (+1.9)	8.0	2.2
8	ろうかを走らない、室内であばれないなどの学校のやくそくが守られていますか。	87.6 (+8.2)	9.9	2.5
9	ほかの子や先生にわかるように、はっきり話をしていますか。	86.6 (-3.7)	11.6	1.8
10	ほかの子や先生の話をしっかり聞いていますか。	95.7 (+3.7)	3.3	0

3年生以上の子どもたち（285人）対象の『学校生活についてのアンケート』です。Aは『楽しい・わかる・できる』等です。Bは『まあまあできる・まあまあわかる』等です。Cは『あまり楽しくない・あまりわからない・』等で、Dは否定形です。昨年度と比べて太字部分は%がアップしています。

10項目中5項目で昨年度より良い評価がアップしています。特に、過去2年間65%程度だった「こまった時先生に相談できますか」が10%アップしたことは、学校としての取組の成果です。また、「ろうかを走らない、室内であばれないなどの学校のやくそくが守られていますか。」もよくなりました。学校生活が落ち着いてきた学年が多いことを示しています。

一方、「こまっている子に声をかけることができますか。」「じゅぎょうはわかりますか。」「今のクラスは好きですか。」と「ほかの子や先生にわかるように、はっきり話をしていますか。」の4項目がマイナスです。「こまっている子に・・・」「じゅぎょうは・・・」「今のクラスは・・・」のそれぞれについて、なかまづくりや授業づくり、クラスづくりの課題です。「ほかの子や先生に・・・」はいつもマスクを着けている影響があるのかもしれませんが、25人のクラスとすると、4%ですと1人の子どもがマイナスの思いをもっていることとなります。この現実を踏まえ、一人ひとりを大切にする基本に立ち返っていきたいと思います。

全項目80%後半以上の高い割合です。これは、学校の取組を保護者の方々、地域の方々が子どもを中心に支えていただいた結果です。決して慢心することなく、本校の実践を進めていきます。

保護者の皆様からいただいたアンケートの回答について

№	質問項目	回答 (%)		
		A+B	C+D	E
1	学校は、情報を積極的に提供している。	87.6 (-1.5)	9.5	2.9
2	学校は、保護者が行事や授業参観等に参加しやすいように工夫している。	93.7 (+1.2)	6.1	0.2
3	学校は、子どもの学力の定着と向上に努めている。	89.2 (-0.2)	6.3	4.5
4	学校は、子どもの健康と安全に努めている。	95.2 (+0.1)	2.9	1.9
5	学校は、子どもたちの間違った行動をきちんと指導している。	84.4 (-3.3)	8.0	7.6
6	学校は、お子さんのことについて相談しやすい。	89.7 (-1.8)	7.7	2.6
7	先生たちは、子どもたちの能力や行動を適切に評価している。	91.0 (+2.1)	3.4	5.6
8	お子さんは、楽しく登校し、元気に学校生活を送っている。	94.7 (-0.9)	4.0	1.3
9	お子さんは、学校行事に意欲的に取り組んでいる。	94.5 (-0.1)	5.0	0.5
10	お子さんは、家庭学習に意欲的に取り組んでいる。	78.3 (+1.6)	21.2	0.5

A: そう思う B: どちらかと言えばそう思う C: どちらかと言えばそう思わない D: そう思わない

E: わからない。昨年度と比べて太字部分は%がアップしています。

保護者の皆さま 378 人にご協力いただいたアンケート結果です。回収率 95.7%です。一番考えていきたい項目は「お子さんは、家庭学習に意欲的に取り組んでいる。」です。昨年度よりアップしたといってもまだ 78.3%です。90%が目標です。家庭学習は、学校での学習内容を定着させるといった復習の面があります。学校で学習するための準備、予習といった面もあります。そして、もう一つ、「家庭での学習習慣の定着」といった面があります。言い換えると、毎日の下校後や休日に家での学習を入れた生活様式・習慣をつくることです。1日 60分学習したとして、授業日が 200日、1年間で 12000分=200時間、土曜日曜は学習しないと 60分×259日=15540分=259時間となります。ちなみに、10分×学年数の勉強時間は、基礎学力形成のためには必ず必要、20分×学年数の勉強をすれば、ほぼ大丈夫と言われていました。参考にしてください。

さて、「学校は、子どもたちの間違った行動をきちんと指導している。」についてはどうでしょうか。学校で、お子さまが何か問題行動を起こした時、すぐに事実を確認し、指導し、保護者の方に説明します。ほとんどが解決し「いい経験」として前向きにとらえられていきます。ご協力をいただきたいのは、休日や長期休業中のお子さまが問題行動を起こした場合です。多くの場合が、各ご家庭で解決しています。それでOKなのですが、できたら、解決後、学校まで事の次第を教えていただきたいのです。各ご家庭で指導していただいたことと学校で指導したことが合わさって、お子さまにとってより良い成長につながるためとご理解ください。

アンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。引き続き、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。